

宮城県内の農地土壌等の放射能測定結果について

水田、転換畑及び畑地土壌の放射能を経時的に把握するため、県内19地点で定点調査を実施しています。また、そこで生産される農作物の放射能を把握するため、農作物についても調査を実施しています。

4月から7月にかけて試料を採取し、測定した結果は下記のとおりです。

なお、今回の結果は途中経過であり、今後も調査を継続していきます。

○試料採取時期(土壌及び農作物)

- ・水田については、代かき前、中干し期及びコメ収穫期時の土壌を採取。
- ・畑地、転換畑については、定植(播種)前、その後1か月毎の土壌(当面、1年程度継続して採取)を採取。
- ・調査ほ場で生産された農作物については、収穫期に採取。

記

1 土壌等採取年月日

平成23年4月1日、5月18～20日、6月21～22日、7月11～12日

2 測定分析機関

日立協和エンジニアリング(株):茨城県日立市(農林水産省の協力による)

3 測定結果

測定した結果は以下のとおりです。

- ・水田土壌

(単位:Bq/kg 乾土)

採取月日 採取場所	土壌中の放射性セシウム濃度 (Cs-134+Cs-137)		
	4月1日* (代かき前)	5月20日 (代かき前)	7月11～12日 (水稻中干し期)
仙台市	98	—	35
白石市	684	—	737
登米市	215	—	98
大崎市	188	—	230
柴田町	693	—	437
川崎町	175	—	189
大和町	259	—	75
美里町	154	—	124
亘理町	—	411	—

※4月1日採取分の測定結果については公表済み。

(参考)国の原子力災害対策本部が発表した、玄米中の放射性セシウム濃度が食品衛生法上の規制値(500ベクレル/kg)以下となる水田土壌中の放射性セシウム濃度の上限値は5,000ベクレル/kg。

・ 転換畑土壤 (単位:Bq/kg 乾土)

土壤中の放射性セシウム濃度 (Cs-134+Cs-137)			
採取月日	4月1日*	5月18日	6月21日
採取場所			
大崎市	—	135	87
栗原市	210	—	136

※4月1日採取分の測定結果については公表済み。

・ 畑地土壤 (単位:Bq/kg 乾土) (単位:Bq/kg)

土壤中の放射性セシウム濃度 (Cs-134+Cs-137)		収穫した農産物の 放射性セシウム濃度と作物名 (Cs-134+Cs-137)	
採取月日	5月19～20日	6月22日	6月22日
採取場所			
名取市	199	141	検出せず (露地こまつな)

(参考)

- 調査地点の設定：19地点
 - (内訳) 水田 13地点 (水稲)
 - 転換畑 2地点 (大豆)
 - 畑地 4地点 (野菜)
- (表には結果が出ている地点のみ表示しているので、表と点数が一致しない。)

参考情報 農地土壤の放射性物質濃度分布図の作成について

平成23年8月30日に、農林水産省から、福島県及びその周辺の地域を対象に作成された「農地土壤の放射性物質濃度分布図の作成について」がプレスリリースされました。

プレスリリースの内容は、農林水産省のホームページに掲載されております。

農林水産省ホームページアドレス: <http://www.maff.go.jp/j/press/>